

令和5年度

わ か り や す い
決 算 書

雄武町



決算の全体像は？(1)

◎決算総額は 101 億 4,628 万円

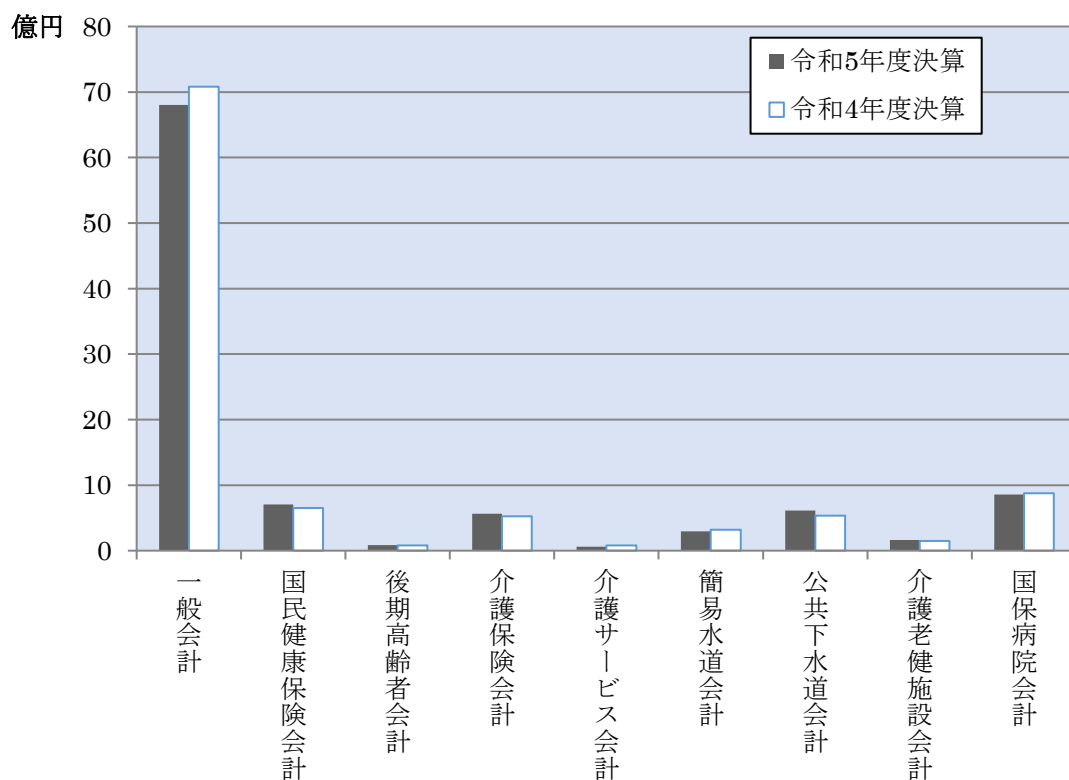
令和 5 年度決算総額は、101 億 4,628 万円となっており、前年度に比べると 1 億 4,300 万円減少しました。

なお、当初予算に比べると 10 億 1,336 万円増加となっておりますが、主な要因としては、ふるさと応援事業や基金積立によるものです。

各会計別の決算額（歳出）

会 計 区 分		令和5年度決算	令和4年度決算	比較増減
一般会計		68億 290万円	70億8,018万円	△2億7,728万円
特別会計	国民健康保険事業会計	7億 446万円	6億5,036万円	5,410万円
	後期高齢者医療事業会計	8,387万円	7,771万円	616万円
	介護保険事業会計	5億6,284万円	5億2,367万円	3,917万円
	介護サービス事業会計	6,193万円	7,918万円	△1,725万円
	簡易水道事業会計	2億9,667万円	3億1,930万円	△2,263万円
	公共下水道事業会計	6億1,130万円	5億3,447万円	7,683万円
	介護老人保健施設事業会計	1億6,467万円	1億4,913万円	1,554万円
国民健康保険病院事業会計		8億5,764万円	8億7,528万円	△1,764万円
合 計		101億4,628万円	102億8,928万円	△1億4,300万円

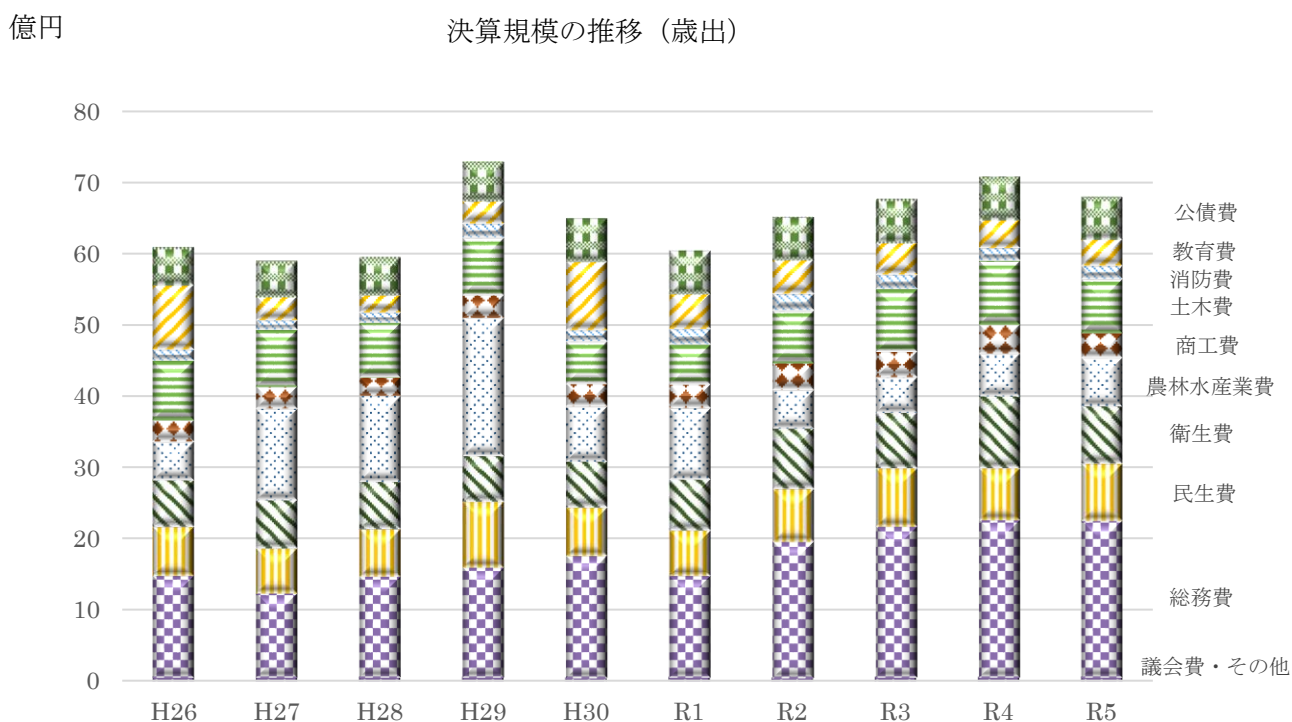
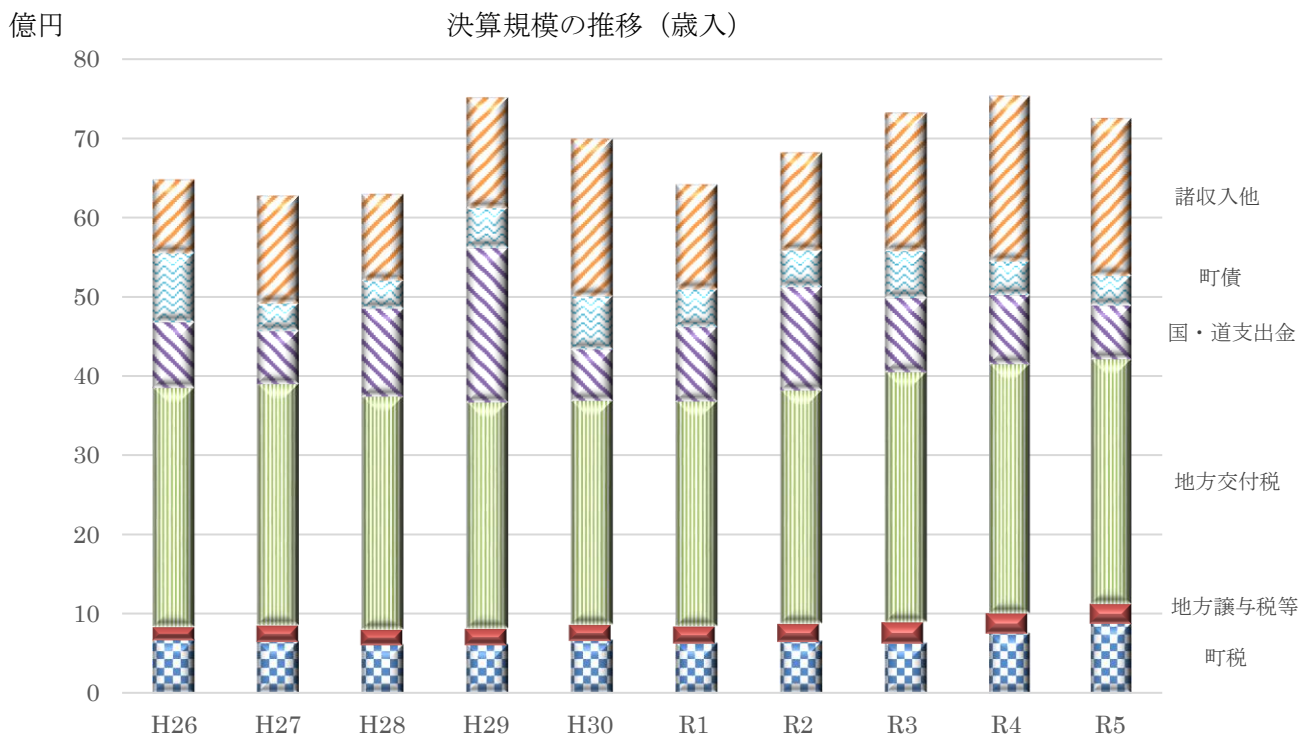
※国民健康保険病院事業会計の金額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。



決算の全体像は？(2)

◎一般会計の決算規模の推移は？

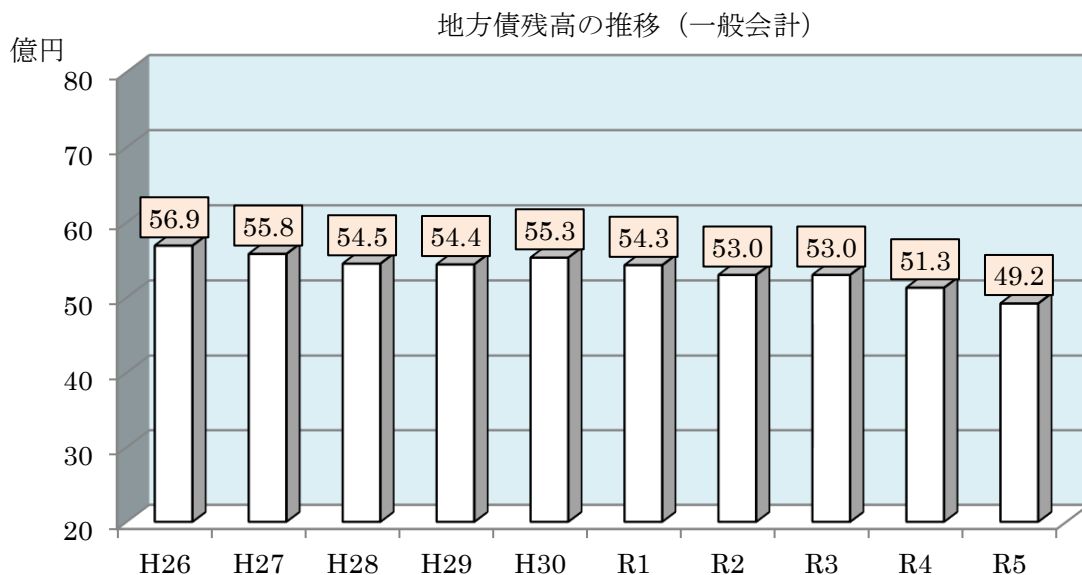
一般会計ベースで、決算規模を比較してみると、次のようになります。
歳入は 72 億 5,074 万円となり、歳出は 68 億 290 万円の決算額となりました。



決算の全体像は？(3)

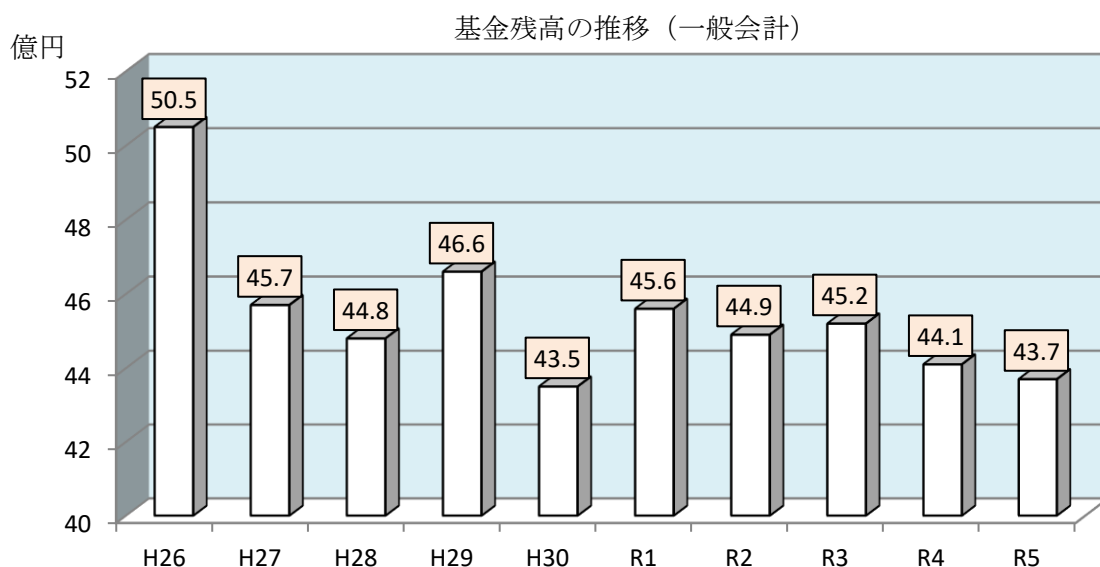
◎借入金（地方債残高）は？

一般会計の地方債残高は、ピークの平成 11 年度末で 87 億 3,674 万円でありましたが、その後の発行の抑制と償還が進んだことから、令和 5 年度末で、49 億 1,584 万円となりました。



◎もしもの貯え（基金）は？

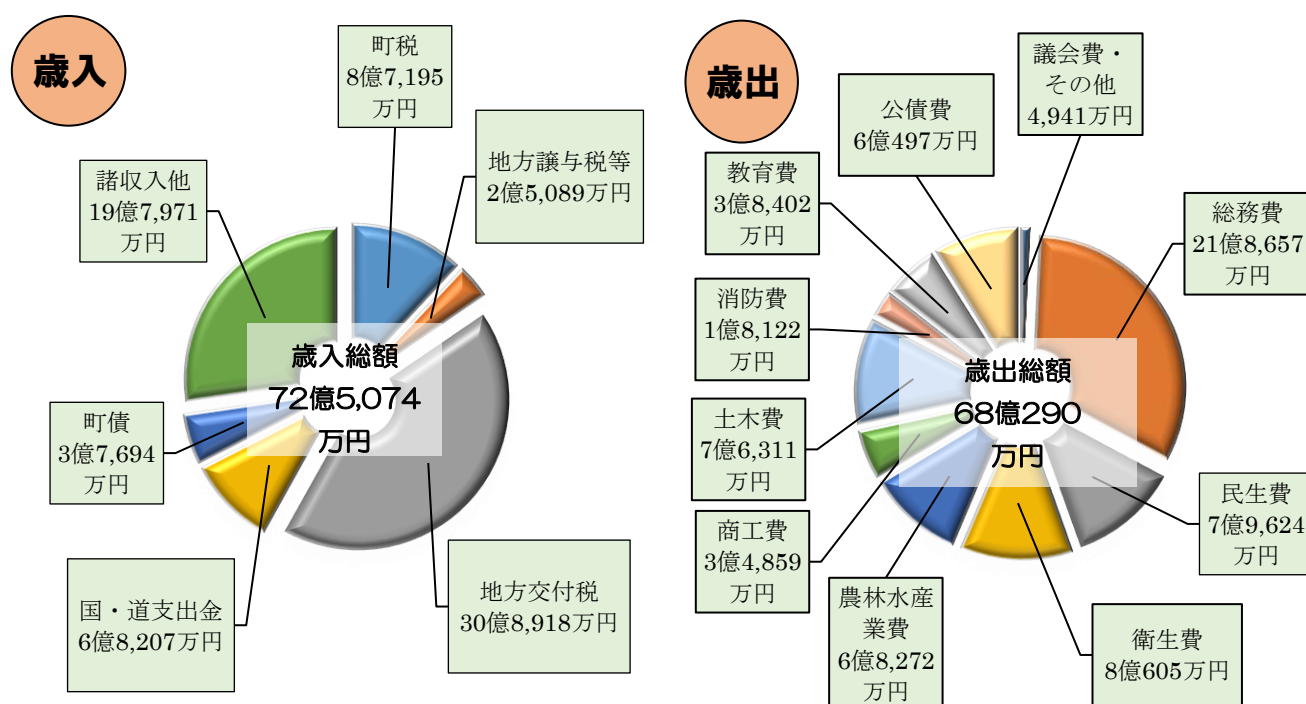
町では、災害復旧などの突発要因や財源不足に対処するため、あるいは特定の目的を持って、基金を設置しています。令和 5 度は財政調整基金及び減債基金、森林環境譲与税基金の一部を使ったため、令和 5 年度末基金残高は、財政調整基金他 15 基金で、43 億 6,588 万円となりました。



決算の概要は？

◎決算の内訳は？

令和5年度一般会計の歳入は72億5,074万円となり、前年度に比べると2億8,207万円減少しています。また、歳出は68億290万円となり、前年度に比べると2億7,728万円減少しました。



◎引き上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途について

引き上げ分の地方消費税交付金は、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされており、令和5年度雄武町一般会計決算における社会保障施策経費への充当状況は、下記のとおりです。

(歳入)	地方消費税交付金（社会保障施策分）	6,135 万円
(歳出)	社会保障施策に要する経費	17,583 万円
		(単位：万円)

事業名		令和5年度 決算額	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち引き上げ分の 地方消費税
			国・道 支出金	町債	その他		
社会 保険	国民健康保険事業	3,861	2,288	0	0	1,573	724
	介護保険事業	11,295	557	0	0	10,738	4,939
	後期高齢者医療事業	2,427	1,401	0	0	1,026	472
合計		17,583	4,246	0	0	13,337	6,135

※社会保障施策に要する経費のうち、充当事業のみ計上。

このようなことに使いました

政策目標①

躍動感あふれる産業のまち・雄武 ～地域産業の振興と雇用の創出～

●新規就農者支援事業

事業内容 新規就農者や担い手の確保対策として、北オホーツク農業担い手対策協議会に負担金を交付しました。また、令和5年度に町内で新規就農した酪農家に対し奨励金を交付しました。	産業振興課 農務係
	決算額 6,005千円

●町有林整備事業

事業内容 森林が持つ様々な機能を発揮させるとともに森林資源の循環利用のため、町有林の伐採、植栽、保育等を進めました。	産業振興課 林務係
	決算額 30,789千円

●ホテル日の出岬施設整備事業

事業内容 ホテル日の出岬施設の現状を保ち、運営・サービスの水準維持を図るため、老朽化した施設の改修や機器等を更新整備しています。令和5年度については、3階客室の改修工事などを実施しました。	産業振興課 商工観光係
	決算額 100,375千円

政策目標②

安心感の持てる福祉のまち・雄武 ～保健・医療・福祉の充実～

●こころの健康づくり支援事業

事業内容 心身共に健康的な生活を送ることができるよう、自分に合ったストレス解消法を持つことやうつ病等の精神疾患の早期発見、早期対応の重要性の理解と対応に関する知識の普及を図りました。	健康推進課 保健係
	決算額 437千円

●障害者自立支援給付事業

事業内容 障害者(児)が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付等の支援を行いました。	地域福祉課 社会福祉係
	決算額 147,482千円

このようなことに使いました

●子ども医療費助成事業

事業内容	地域福祉課 保険給付係
高校卒業年度までの子どもで、健康保険が適用される医療費の初診時一部負担金を除いた額を助成しました。	決算額 10,890千円

政策目標③

達成感から学ぶ教育のまち・雄武 ～教育文化の振興と拠点づくり～

●雄武高等学校存続対策事業

事業内容	教育振興課 総務管理係
雄武高等学校の存続対策及び人材育成の観点から、部活動に対する支援、町外から雄武高校に通学する費用の補助、自己研鑽して雄武高校が推奨している各種検定及び資格取得に対する助成、見学旅行への参加費用の助成など、様々な支援を行いました。	決算額 24,731千円

●小中学校児童生徒検定チャレンジ促進事業

事業内容	教育振興課 学校教育係
小中学校の児童生徒が取り組んでいる漢字能力検定、英語技能検定、数学技能検定等について、受験費用の全額を助成しました。	決算額 168千円

●読書促進事業

事業内容	教育振興課 図書業務係
様々な学習目的と複雑かつ高度化する生涯学習ニーズに応えるため、蔵書の充実を推進しました。	決算額 8,978千円

政策目標④

快適感を満たす環境のまち・雄武 ～生活環境・生活基盤の充実～

●雄武町オホーツク紋別空港利用促進事業

事業内容	総合政策課 地域経営係
オホーツク紋別空港と羽田空港間の直行便に搭乗した町民等の対象者に対し、空港利用の促進、負担軽減、また観光振興のため、助成を行いました。	決算額 36,223千円

このようなことに使いました

●浄化槽整備事業

事業内容 公共下水道処理区域以外における合併処理浄化槽等の生活排水処理施設を通じて、河川や沿岸海域への環境負荷の低減を図るため、合併浄化槽設置者に対して、設置費用及び維持管理費の一部を補助しました。	住民生活課 環境衛生係
	決算額 5,437千円

●雄武町快適住まいづくり促進事業

事業内容 快適に生活するための住宅の整備を行う、雄武町住民基本台帳に登録されている方、又は、今後町内に居住しようとする方で、一定期間の居住が確約できる方に対し、補助金を交付しました。	建設水道課 建築係
	決算額 38,595千円

政策目標⑤

連帯感を高める協働のまち・雄武 ～協働によるまちづくりの推進～

●町広報紙発行事業

事業内容 町の様々な情報を発信する広報活動の媒体として、広報紙を毎月発行し、町内全戸に配布しました。	総務課 広報統計係
	決算額 5,352千円

●自治会運営補助事業

事業内容 町内自治会の自主的かつ円滑な運営のために防犯灯の電気料金や冬季除排雪などの運営補助を行いました。	総務課 防災交通係
	決算額 3,370千円

●ふるさと応援事業

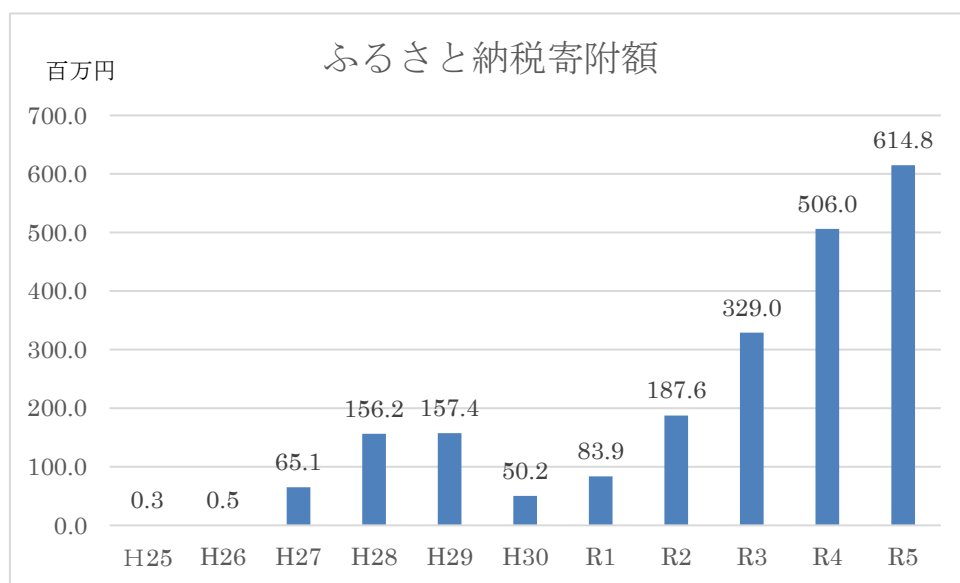
事業内容 ふるさと応援寄附金をいただいた方に対して、返礼品(特産品)を贈呈し、自主財源の確保を促進させるとともに、町や特産品のPRにも繋げました。	ふるさと納税推進室
	決算額 334,919千円

ふるさと納税実績報告

◎雄武町への寄附状況

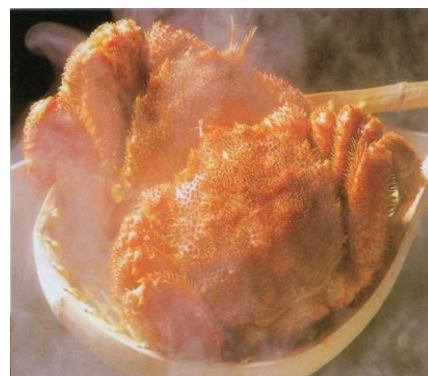
令和 5 年度の雄武町へのふるさと納税による寄附金額は、6 億 1,400 万円となっており、昨年度の 5 億 599 万円を大きく上回る寄附をいただきました。

お礼の品は、町内事業者の協力により、ホタテをはじめとした海産物、韃靼そば、チーズ、牛肉、ドレッシングなどの特産品の他、ホテル日の出岬の宿泊券を贈っています。特にホタテは大変好評で、全国の多くの寄附者に選ばれており、雄武町の魅力を感じていただいております。



◎寄附金活用事業

ふるさと納税による寄附金は、お礼の返礼品代や送料などの経費を差し引いた残りを「ふるさと応援基金」に積立てしています。また、寄附金は毎年度総合計画における政策目標に沿った事業の財源として活用させていただいており、令和 5 年度のふるさと応援基金を活用した金額は 1 億 3,824 万円となっております。



ふるさと納税実績報告

政策目標①

躍動感あふれる産業のまち・雄武 ～地域産の振興と雇用の創出～

活用事業

・観光PR事業ほか3件

活用額 38,250 千円

政策目標②

安心感の持てる福祉のまち・雄武 ～保健・医療・福祉の充実～

活用事業

・子ども医療費助成事業ほか4件

活用額 36,324 千円

政策目標③

達成感から学ぶ教育のまち・雄武 ～教育文化の振興と拠点づくり～

活用事業

・学校環境整備事業（小中学校の空調設備整備）ほか4件

活用額 42,359 千円

政策目標④

快適感を満たす環境のまち・雄武 ～生活環境・生活基盤の充実～

活用事業

・都市公園整備事業（沢木交通公園のトイレ建設）ほか1件

活用額 21,122 千円

政策目標⑤

連帯感を高める協働のまち・雄武 ～協働によるまちづくりの推進～

活用事業

・学校支援活動推進事業

活用額 180 千円

指標で見る財政状況は？

○オホーツク総合振興局管内の財政状況（令和5年度）

（単位：％）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
雄 武 町	— (15.00)	— (20.00)	7.7 (25.00)	— (350.0)
北 見 市	— (11.55)	— (16.55)	11.8 (25.00)	147.8 (350.0)
網 走 市	— (13.06)	— (18.06)	16.1 (25.00)	112.9 (350.0)
紋 別 市	— (13.32)	— (18.32)	9.3 (25.00)	— (350.0)
美 幌 町	— (14.02)	— (19.02)	7.2 (25.00)	— (350.0)
津 別 町	— (15.00)	— (20.00)	5.6 (25.00)	— (350.0)
斜 里 町	— (14.39)	— (19.39)	11.4 (25.00)	42.1 (350.0)
清 里 町	— (15.00)	— (20.00)	9.2 (25.00)	— (350.0)
小 清 水 町	— (15.00)	— (20.00)	9.9 (25.00)	41.9 (350.0)
訓 子 府 町	— (15.00)	— (20.00)	8.0 (25.00)	— (350.0)
置 戸 町	— (15.00)	— (20.00)	8.2 (25.00)	— (350.0)
佐 呂 間 町	— (15.00)	— (20.00)	7.5 (25.00)	— (350.0)
遠 軽 町	— (13.40)	— (18.40)	10.6 (25.00)	25.4 (350.0)
湧 別 町	— (14.66)	— (19.66)	8.8 (25.00)	— (350.0)
滝 上 町	— (15.00)	— (20.00)	7.1 (25.00)	— (350.0)
興 部 町	— (15.00)	— (20.00)	7.3 (25.00)	— (350.0)
西 興 部 村	— (15.00)	— (20.00)	9.2 (25.00)	— (350.0)
大 空 町	— (14.85)	— (19.85)	9.6 (25.00)	— (350.0)

注 1 （ ）は各市町村の早期健全化基準。市町村ごとの財政規模に応じて、実質赤字比率は 11.25%～15.00%、連結実質赤字比率は 16.25%～20.00%の範囲となる。実質公債費比率は 25.00%、将来負担比率は 350.0%で全市町村一律の基準となる。

注 2 「—」は実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率が発生していない。

用 語 の 説 明	
実質赤字比率	一般会計の赤字度合いを表した比率です。
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計及び公営企業会計の全会計を合算して、赤字度合いを表した比率です。
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3ヶ年平均）です。
将来負担比率	将来、支払っていかなければならない地方債や負担しなければならない債務を、標準財政規模と比較して表した比率です。

わかりやすい決算書(令和 5 年度決算)

編集 雄武町役場財務政策課

発行 令和 6 年 1 1 月